

# 宝石学会（日本）ニュースレター

第29号 2023年6月

## 講演会・総会報告

講演会・総会が予定通り開催され無事終了しました。  
以下のとおり報告いたします。

○日時 2023年6月10日（土）

○場所 フォッサマグナミュージアム(総会・講演会)  
倉また(懇親会)

○参加者 講演会・総会：70名



講演会・総会会場



講演会会場全景

## 特別講演



「AIを活用した画像認識によるヒスイの同定」  
小河原孝彦氏

## 一般講演



「深紫外発光ダイオードを用いた短波紫外線観察器  
の評価」 福田千紘会員



「北海道然別産オパール  
の蛍光起源有機物」  
末富百代会員



「群馬県南牧村三ツ岩岳産アメシストについて」  
川崎雅之会員



「グリーンランド産ルビーとモンタナサファイア、  
LA-ICP-MS を用いた原産地鑑別;アップデート」  
江森健太郎会員



「北海道鹿追町然別産の多環芳香族炭化水素鉱物を  
包有する蛍光性オパール」石橋 隆会員



「コランダム中の二酸化炭素流体の赤外吸収スペク  
トル」猿渡和子会員



「Cr 含有赤色マスグラタイトの分析」  
趙 政皓会員



「ミャンマー、モーゴック産のスター・ペリドッ  
ト」古屋正貴会員



「宝石としての玉とヒスイ（翡翠輝石）について」  
林 政彦会員



「構造欠陥・化学的特徴を用いたペリドットの産地  
鑑別」三浦 真会員



「パライバ・トルマリンの色因：銅か鉄か、それが問題だ」 桂田祐介会員



「Lotus Colors 社による照射ダイヤモンドの特徴及び比較研究」 阿依アヒマディ会員



「Fe 添加スピネル ( $MgAl_2O_4$ ) の結晶育成」 勝亦 徹会員



「コンピュータグラフィックスによるアコヤ真珠のテリの再現の検討」 菊池雄太会員



「教材としての宝石活用の試みーアルカリシリカ反応によるオパール劣化ー」 田邊俊朗氏



「マベから産出する無核の養殖真珠について」 渥美郁男会員



「“ハイブリッドダイヤモンド” (天然+CVD 合成) の宝石学的研究」 北脇裕士会員



「処理されたアコヤ真珠における蛍光挙動の変化について」 田澤沙也香会員



「最近見られるシロチョウ真珠の特徴」  
横塚 敢会員



「外観がアコヤ真珠と類似した小型有核淡水真珠の  
出現」山本 亮会員



「金属光沢を放つ有核淡水真珠の光学的特徴と化学  
組成について」若月玲子会員



「有核養殖真珠の巻厚が美しさと耐久性に与える影  
響と真珠層体積率との相関性」伊藤映子会員

## 総会内容

### ○2022 年度事業報告

- ✓ 総会・講演会の実施
- ✓ 学会誌の発行
- ✓ ニュースレターの発行
- ✓ ランチタイム講演会の実施(4 件)
- ✓ 会員名簿の発行
- ✓ 幹事会・評議員会の開催

### ○決算報告

要旨集記載の通り報告され、監事 より承認と報告された。

### ○事業計画

(2023 年 4 月～ 2024 年 3 月 )が以下の通り提案され承認された。

- ✓ 総会・講演会の実施(新潟県糸魚川市フォッサマグナミュージアム)
- ✓ 学会誌の発行
- ✓ オンライン行事(ランチタイム講演会 etc.)
- ✓ ニュースレターの発行
- ✓ IGC 協力
- ✓ 学会ロゴの作成
- ✓ 会員名簿改訂版発行
- ✓ 評議員選挙
- ✓ 幹事会・評議員会の開催
- ✓ 50 周年行事の検討
- ✓ 2024 年の講演会・総会は東京方面で開催予定

○予算が要旨集の通り提案され承認された。

○会員情報が要旨集記載の通り報告された。

○情報について次の報告があった。

- ✓ 電子化による著作権料収入が 104,894 円あった。
- ✓ ホームページの維持・管理はイーディーエル株式会社に依頼していたが、来年からはホームページを提供する Wix と直接やりとりすることになる。
- ✓ J-Stage への電子化によるアップロードについては株式会社ジェーピーシーに委託している。

○IGC (国際宝石学会議) の概要の説明があった。

この会議は宝石学の歴史と伝統のある会議で、今回、日本では 2 度目の会議となる。

会議は 10/23 (月)～10/27 (金) に開催され、場所は、オープニングセッションが上野・精養軒、本会議が上野・国立科学博物館。

当会会員も人数は限定されるが聴講可能であり、参加方法など詳細はニュースレター等で告知の予定。

○懇親会 於：「倉また」 参加者：56名



石灰岩からなる明星山の大岩壁

○見学会 6月11日(日) 参加者：61名  
糸魚川駅 8:15分発 15:00糸魚川到着  
梅雨時期の実施のため、晴天コースと雨天コースの2案が準備されていました。残念ながら天候にはめぐまれませんでしたが、小雨だったため、晴天コースで実施し、露頭見学やヒスイ探しなど屋外で楽しみました。



小滝川ヒスイ峡



見学会のバス2台



ヒスイの巨塊@小滝川ヒスイ峡



フォッサマグナパーク



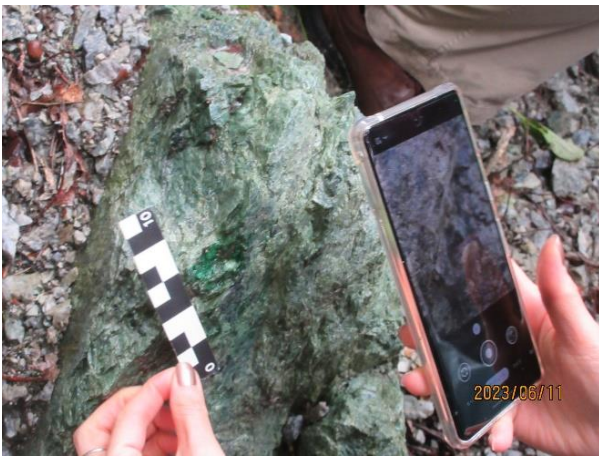
展望台より高浪の池を見下ろす



昼食場所の高浪の池



コスモクロア輝石露頭



鮮緑色のコスモクロア輝石



須沢海岸でヒスイ探し



須沢海岸の様々な石



須沢海岸で参加者が採取のヒスイ（径 1.5 cm）とコメント「あいにくの天気でしたが、雨に濡れていたの  
でひときわヒスイが目立っていたように思います。事前に沢山のレクチャーをして頂いたおかげです。」

今回の講演会・総会・見学会について、ぜひお伝えしておきたいことは、フォッサマグナミュージアム館長の竹之内耕氏と学芸員の小河原孝彦氏に多大なるご支援をいただいたことです。準備の段階から親身になって対応していただきました。糸魚川市の後援もいただき、お二人の支援業務や見学会にバスの提供など優遇を受けました。深く感謝の意をあらわしたいと思います。

また、今回は、学生さんが大勢参加され、発表も2件ありました。おかげでずいぶんフレッシュな会になりました。次年以降も参加をお願いしたいです。

講演会アンケート結果は次号に載せます。

本ニュースレターの著作権は本学会が所有しますが、著名入り記事の執筆責任はそれぞれの著者にあります。

宝石学会（日本）ニュースレター（第 29 号）  
2023 年 6 月 発行  
編集：神田久生、渥美郁男、江森健太郎、北脇裕士、高橋泰、林政彦、古屋正貴、矢崎純子、山本亮  
発行：宝石学会（日本）  
東京都台東区上野 3-20-8 小島ビル 6 階